

まちづくり基本目標

- ◇将来を担う人が育つまちをつくる
- ◇安心して生活できるまちをつくる
- ◇賑わいのあるまちをつくる
- ◇暮らしやすいまちをつくる



発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



今号の紙面から

2面

町田私の好きなお店大賞～歴代受賞店グランプリの投票を開始します

町田市介護予防月間2014各種イベントを開催します

5面

町田市立博物館「江戸の衣装競べー国立歴史民俗博物館 野村コレクション」展



ワクワクがいっぱい。「おいでよ」町田に! 第28回

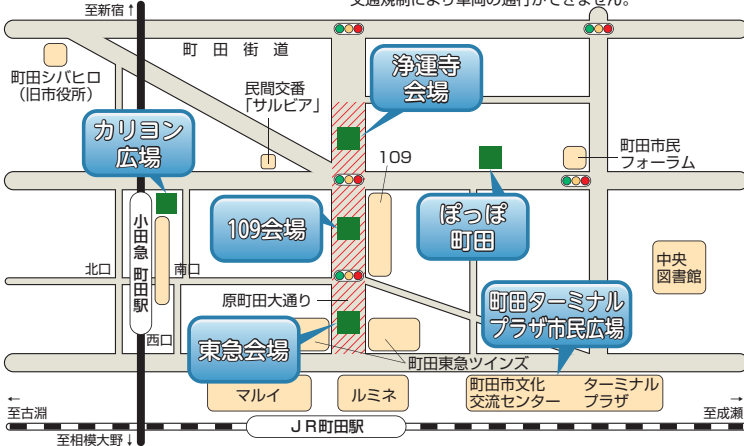
フェスタまちだ 2014

9月13日(土)午前11時～午後5時
14日(日)午前11時～午後6時



フェスタまちだ会場案内図

交通規制が行われます。14日(日)は、の原町田大通りは午前10時～午後7時の間、交通規制により車両の通行ができません。



各会場プログラム案内

会場名	日程	開催時間	内容
カリヨン広場	13日(土)	正午～午後5時	エイサー演舞
	14日(日)	午前11時30分～午後1時 午後1時～3時 午後3時～5時	エイサー演舞 琉球舞踊 エイサー演舞
109会場	14日(日)	午前11時30分～午後6時	模擬店
ぼっぽ町田	13日(土)	午前11時～午後5時	東北支援ブース
浄運寺・東急会場	14日(日)	午前11時30分～午後6時	エイサー演舞
町田ターミナルプラザ市民広場	14日(日)	午後0時30分～3時30分	エイサー演舞

別名「町田エイサー祭り」とも呼ばれる「フェスタまちだ」。今年も町田駅前の原町田大通りをメイン会場に盛大に開催されます。

地元町田や各地域から27団体が参加します。本場沖繩からも「越来青年会」が参加し、ダイナミックで熱いエイサー演舞を披露します。

この他、東北の物産品を扱う東北支援ブースや、沖繩に関するアトラクション、模擬店も多数出展し、イベントが盛りだくさんです。

問フェスタまちだ2014実行委員会
☎726・8852、町田市産業観光課
☎724・2128 FAX050・3101・9615

魅力に触れてみませんか。

秋はまちだでお祭り三昧

秋は町田駅周辺で大きな祭りが続々開催されます。祭り巡りで町田の

10月26日(日)
午前11時～午後3時30分
**町田時代祭り
2014**



鎌倉街道を駆け巡った武士や農兵隊の面影を伝える時代行列、流鏝馬などいにしへの町田を感じられる祭りです。

問町田ツーリストギャラリー
☎850・9311、町田市産業観光課☎724・2128
FAX050・3101・9615



いい街・町田の農業と産業のフェスティバルです。農産品の即売とおいしいお店「まち☆ベジ マルシェ・まちだの市」ほか楽しいイベントでお待ちしています。

問キラリ☆まちだ祭実行委員会事務局(町田商工会議所)
☎722・2166、町田市農業振興課☎724・2166
FAX050・3101・9913

11月9日(日)
午前11時～午後4時
**キラリ☆
まちだ祭**

まちだの魅力を発見!発信!



『まちだ自慢』サポーター活動開始

町田市の魅力を市内外にアピールする『まちだ自慢』サポーター240人が、活動を開始しました。活動開始にあたり、8月30日(土)には『まちだ自慢』サポーター認定式と町田の魅力発信セミナーを実施しました。セミナーでは、参加した96人のサポーターが、町田市のおすすめスポットや名産品を試食した感想など、町田市の魅力について意見を発表しました。

今後サポーターの皆さんには、9月13日に開設予定の『まちだ自慢』公式ウェブサイトや地域情報発信サイト「ぐるたび」への投稿や、口コミ等で町田市の魅力を積極的に発信していただきます。

問広報課☎724・2101 FAX724・1171

いつまでもいきいきと 9月16日は敬老の日 市内最高齢の方は 横田要太郎さん110歳



昔はエンジニアとして活躍されていた横田さん(明治37年生まれ)



畑仕事で培った丈夫な体が自慢の浅沼さん(明治38年生まれ)

敬老の日を前に、市内の男女それぞれの最高齢の方を、8月28日に石阪市長が訪問し、記念品を贈呈して長寿をお祝いしました。

市内最高齢は、110歳の男性で、薬師台の横田要太郎さんです。長生きの秘訣は、「裸足で過ごすこと、好き嫌いなく食べること」だそうです。「来年もお祝いにお伺いしますね」と市長の問いかけに、横田さんは笑顔で応えられました。

元気の源は、食事のときに欠かさず食べるご飯とお味噌汁だそうです。当日は、「こんなに大勢来てもらってありがたい」と大きな声で話されました。

問高齢者福祉課☎724・2141 FAX050・3101・6180